

分科会 「ボランティアの悩み解決へ！」

～悩み交換会～

ワークショップの内容

「ボランティア活動での悩みを共有し、みんなで解決策を探る」

1 アイスブレイク

簡単な指遊び等のアイスブレイクを行ったあと、グループで人間知恵の輪に挑戦！
各グループの中で、イニシアティブをとって知恵の輪を解いてくれる人がたくさん
できたので、そのあとの話し合いがスムーズに進みました。

2 グループワーク

グループワーク

- ・どんな悩みがあるかポストイットに書く

グループワーク

- ・悩みを分類する。

グループワーク

- ・解決策を考える。

発表

3 まとめ

1班

| 悩 み | 解 決 策 |
|--|---|
| <p><人間関係></p> <ul style="list-style-type: none">・子どもとの接し方が分からない・初対面の人と話をするのが苦手 | <ul style="list-style-type: none">・コミュニケーションをとる方法についての勉強会などを開く、またはそういった研修会に積極的に参加する。 |
| <p><マンネリ化></p> <ul style="list-style-type: none">・サークルの活動が毎年同じ・新しい取組みが難しい・1年生の不満を取り上げてくれない・途中からサークルに入りにくい | <ul style="list-style-type: none">・年に1つは何か新しいことに挑戦する・他のサークルのアイデアを取り入れる・他のサークルと連携し新しいことにチャレンジする・「やる気じゃネット！青春じゃけん」実践交流会にどんどん参加し、他のサークルとネットワークを結ぶ・グループの中だけの活動だと非力だが、地域の人を積極的に取り込めば活性化するのではないかと思う |

| | |
|--|---|
| <p><情報・広報></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のサークルの情報が入りにくい ・OB, OG の意見や話が聞きたい。 ・代表者が集まる機会や場所がない <p><温度差></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内サークルだと活動しない ・やらない人に対しての接し方が分からない ・高校生スタッフの意識が低い ・アルバイトを優先するメンバーに強く言えない ・地域の人に理解されていない | <ul style="list-style-type: none"> ・学連のような組織をつくり積極的に情報交換を行う ・主体的に参加できるプログラムを考えモチベーションを高める ・活動の意義を伝える。(サークル内での目的の確認) ・やらない人をどうやる気にさせるかよりも、やりたい人をどうやったら増やせるかを考える。 ・大きな企画より、もっと小さなボランティアから始める |
| <p><運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足(サークルの人数が少ない) ・後輩に引継ぎがうまくいかない(意思を引き継ぐことができにくい) ・目標が明確でなく、活動が形にならない(ゴールが見えない) ・学生の間で終わってしまう | <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動をしっかり行う ・親睦を図る会を企画する。 ・代表だけに任せるのではなく、サークル全体で取り組む仕組みをつくり、各部員が自分の役割を自覚することが大切 ・OB・OG になっても気楽に参加できる雰囲気をつくる。 |

2班

| 悩 み | 解 決 策 |
|---|---|
| <p><人間関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーが脱会した ・中・高校生とカベがある | <ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶ, 食べる場などまずは親睦を深める ・同じ目線でしっかり話を聞く ・相手を知る努力をする |
| <p><やる気></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの意識に温度差がある ・指示がないと動けない ・時間が守れない ・気合が無い <p><集まり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーがバイトを優先させるので集まりが悪い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・まずは後輩の話をしっかり聞く ・同学年の友だちで話し合ってもらい、サークルの考えを消化できるようにする。 ・みんなが集まりたくなるような雰囲気をつくる。 ・達成感を味わえるような企画を考える |
| <p><情報の共有></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールがなかなか回らない ・キャンプの時, ゲームの内容など細かいところまでみんなに伝わっていない。 ・あまり活動が知られていない。メンバーも何をやっているか分からない | <ul style="list-style-type: none"> ・親睦を深めるための遊びの企画など行い気楽にメールで連絡がとれるようにする。 ・スタッフ会議の内容を欠席者にも必ずメールで伝え情報の共有化を図る |

<キャンプ・子ども>

- ・キャンプにゲームを持ってくる子どもがいる（どのように接したらいいのか分からない）
- ・キャンプファイヤーの時に子どもに体力が残っていない

・ルールをみんなでつくる

・子どもの目線でプログラムを見直す